

## 夢が広がる童話の世界

平成23年度菊陽町童話発表大会



▲最優秀賞を受賞した清水さん(左)と井さん(右)

平成23年度菊陽町童話発表大会が7月29日、図書館ホールで開催されました。

この大会には、町内の小学校から選ばれた12人の児童が参加。お気に入りの童話や民話などを、表情豊かに発表しました。

今回の大会では、菊陽中部小学校3年の清水弥乃さん、武蔵ヶ丘小学校5年の井梨緒奈さんが最優秀賞を受賞。2人は8月17日に合志市で開催された菊池郡市大会に菊陽町代表として出場し、井さんが優秀賞、清水さんが入賞をそれぞれ受賞しました。

## 社会から犯罪や非行をなくすために

～明るく住みよい社会をめざす～青少年のつどい



▲「子どもたちは地域で育てる時代が来た」と訴えた石橋教授

「～明るく住みよい社会をめざす～青少年のつどい」が7月16日、菊陽町図書館ホールで開催されました。

武蔵ヶ丘中学校吹奏楽部によるオープニングセレモニーのあと、小中学生10人によるメッセージ発表が行われました。

また、記念講演では、熊本県立大学の石橋敏郎教授が、「人を育てる。地域を育てる。」を演題に、これからの教育のあり方などについて講演されました。自らの体験談を交えたユーモアある話しぶりに会場は大いに盛り上がりました。

## バレーを通して交流と健康づくり

第10回菊陽町ふれあいミニバレーボール大会



▲参加者の顔からは笑みがこぼれる

ミニバレー協会主催(村上緑会長)の第10回菊陽町ふれあいミニバレーボール大会が7月24日、町民体育館と菊陽中学校体育館で開催されました。

今年も20～70歳代の54チーム約300人の愛好者が集まり、熱戦を繰り広げました。優勝チームは次のとおりです。

- 女子 【55歳以上】 カレンズ
- 【40歳以上】 ラディッシュA
- 【39歳以下】 シュガリーノ
- 男子 【40歳以上】 宮ノ上ワン   【39歳以下】 ZERO

## お散歩しながらごみ拾い

こうのとりの保育園



▲お友達と一緒にごみ拾い

こうのとりの保育園の年長組、年中組の園児たちが7月21日、園周辺の散歩コースのごみ拾いをしました。

園では、本年から月1回、散歩コースとして利用している道路のごみ拾いをはじめ、子どもたちに環境教育を行っています。

園児たちは、道端に落ちている空き缶やごみを拾ってはごみ袋の中へ。競争をするように一生懸命見つけていました。園児たちの歩いた後の道路は、とてもきれいになりました。

## 今が旬～トマトとゴーヤ

夏野菜クッキング



▲トマトとベーコンのスパゲティを頬張る子どもたち

夏野菜を使ったトマト料理(講師：山田千代美さん)が8月3日、ゴーヤ料理(講師：池田春香さん)が11日、三里木町民センターで行われました。

トマトはビタミンが多く、見た目も鮮やかで夏にピッタリです。「トマトとベーコンのスパゲティ」などを作り、試食した子どもたちも大喜びでした。

ゴーヤは、センターのゴーヤカーテンから収穫し、「鱧のゴーヤフライ」など5品を作りました。参加者は新しいレパートリーが増えたと大満足でした。

## 新町区が優勝

第29回地区対抗軟式野球ナイター大会



▲優勝した新町区の皆さん

第29回地区対抗軟式野球ナイター大会が7月11日～7月21日、町民総合運動場で開催されました。

今回で29回となるこの大会には、町内各地区から9チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

決勝戦では、新町区が出分区を破り、見事優勝しました。大会の結果は次のとおりです。

- 【優勝】 新町区
- 【準優勝】 出分区
- 【第3位】 緑ヶ丘グリーンスターズ  
          緑陽台区

## もっとバスケットが上手になりたい!

プロバスケットボール選手が子どもたちを指導



▲プロ選手から教わった練習方法を実践

アメリカのプロバスケットリーグ「NBA」の今季優勝チーム、バンクーバーブルケーノーズの選手ら10人が8月5日、菊陽中学校で町内の小中学生70人に「バスケットクリニック」を行いました。これは、「熊本にプロバスケットボールチームをみんなで創ろう会」が、熊本の子どもたちに本物のバスケットに触れてもらいたいとの思いで企画したものです。

子どもたちは、プロ選手の素早い動きやテクニックに圧倒されながらも、さまざまな練習方法とコツを学んでいました。

## 案内看板づくりで交流図る

高齢者と子どものさわやかふれあい会



▲展望台への大看板に色を付ける

平成23年度世代間交流事業「高齢者と子どものさわやかふれあい会」が8月5日、南部町民センターで開催され、約100人の地域住民がさまざまな行事を楽しみました。

鼻ぐり井手公園に掲げる展望台への大きな案内看板を6年生が、中洲山に掲げる小さな看板を1～5年生が、地域の皆さんと一緒に作成し、とても楽しい作品ができあがりました。その他、高齢者の皆さんと子どもたちが一緒に水鉄砲遊びを楽しんだり、手作りカレーなどの食事を通して交流を深めました。

## 先祖の供養と無病息災を祈る

上津久礼の伝統行事「川施餓鬼」



▲住民手作りの施餓鬼船

上津久礼の伝統行事「川施餓鬼」が8月19日、上津久礼区で行われました。川施餓鬼は330年以上続いており、町の無形民俗文化財に指定されています。

昔は白川沿いに集落がありましたが、水難と人畜の被害に悩まされ現在の地に移り住んだ住民たちが、供養と無病息災を祈念するために始めました。

当日は慰霊祭の後、各組に分かれて竹と麦わらで馬をかたどり、ちょうちんを付けた「施餓鬼船」が作られました。日が暮れると花火大会や盆踊りも行われ、住民たちは夏の夜を楽しみました。